

暑熱時に乾物摂取量を落とさないカギ

～ 牛体に風を直接当てる ～

暑熱期に牛の体感温度が下がるよう、牛が汗をかく「首から肩の部分」へ風が当てるように送風機を活用しましょう。

設置台数を増やす、設置角度を調整するなどして、全ての牛に十分な強さで風が当たるようにすることが重要です。昨年暑熱の影響が大きかった牛群では特に配慮が必要です。



牛床通路で牛体に風が当たるよう送風機を多く設置した事例

～ 品質の悪いサイレージの給与を避ける ～

消化が遅い粗飼料の給与は乾物摂取量を低下させます。また、第一胃内で発酵熱を多く産出し、暑熱による影響が大きくなります。刈り遅れ傾向のNDFの高いサイレージや切断長の長いサイレージを暑熱期になるべく給与しないよう、今から給与計画を立てておきましょう。

～ 牛の飲水量を満たす ～

乳牛の飲水量は気温の上昇とともに増加します。また、暑熱時に乾物摂取量を落とさせないためにも、牛が自由に飲水できることが必要です。飲水環境を再確認し、給水器の増設＋定期的な洗浄をしましょう。

搾乳牛だけでなく、乾乳牛、ほ育、育成牛の飲水確保もおこないましょう。

〈〈重曹を使った水槽、ウォーターカップなど給水器の洗浄方法〉〉



用意するもの
重曹、タワシ、ゴム手袋、
バケツ、カップ



① 水槽(ウォーターカップ)内に
残っている汚れを取り除き、
カップで水をかき出す



② 水槽(ウォーターカップ)全体に
重曹を振りかける



③ タワシでよく擦り、汚れ
を十分に落とす



④ 水で十分にすすぐ



⑤ 作業終了

水槽は毎日ゴミ取りし、かつ、頑固な汚れは洗浄を定期的におこないましょう！